

| | |
|----------------|---|
| 導入期 第5学年前半① | 単元名：When is your birthday? Unit-2 (We Can!1) 【2/7 時間】 |
| | 主となる指導項目：Reading |

本時のねらい

- ・月名を聞いたり言ったりすることができるとともに、日付の言い方を知る。

【収録されている活動 (◆:本時のねらいにつながる主となる活動)】

【Warm-up をしよう】

英語での挨拶やクラスルームイングリッシュを発音させ、英語を話す雰囲気作りをします



【Warm-up をしよう】

- ☆その日のリーダーを中心に、クラスルームイングリッシュを練習させる。
 - ・リーダーの質問に全員で答えたり、リーダーに続いてクラスルームイングリッシュを発音し定着させる。
 - ・難しい発音については、ALT に支援してもらう。
 - ・校内で Warm-up のパターンを統一して、3, 4 年生のうちには HRT が主導を進める。高学年になったころから児童主導へと移行していくようにする。

【アルファベットを書こう】

標準的な書き順で4線上に書くことで、アルファベット(大文字)の定着を図ります



【アルファベットを書こう】

- ☆学習する文字に対して意欲をもたせるために、HRT がジェスチャーなどを交えて児童に提示する。
- ☆標準的な書き順で4線上に書けるよう、手本を見せる。
- ☆文字と音を結びつけるため、学習した文字の中からいくつかを選び、3文字程度続けてALT に発音してもらい、聞こえた順番にワークシートの4線上に書かせる。

◆【月の言い方を練習しよう】

歌やカルタゲーム(読む活動)を通して、繰り返し発音させたり、文字を見て読ませたりすることで、月の言い方に慣れさせます



【月の言い方を練習しよう】

【歌】

- ☆斉唱、列毎、自分の誕生日は歌わない、自分の誕生日に座ったり立ったりさせるなど、様々なパターンで繰り返し歌わせることで、児童の発語量を確保する。
- ☆発音が難しい月については、ALT に支援してもらう。

【カルタゲーム】

- ☆はじめはHRTとALTの会話で出題するようにし、表現を聞いて慣れ親しませ、児童の様子をみながら、可能であれば児童に“When is your birthday?”と指導者に尋ねさせるようにする。誕生日を尋ねたり答えたりする表現に出合う場であるため、はじめに誕生日についてのやり取りを見せる。
- ☆カードに文字を入れ、音と文字をつなげていく活動の初期段階として扱う。

◆【序数の言い方を知ろう】

繰り返し聞いたり、発音したりすることを通して、序数(1st ~ 31st)の言い方に慣れさせます



【序数の言い方を知ろう】

- ☆HRTとALTで誕生日を尋ね合う場面を見せたり、児童に誕生日を尋ねたりして、日付を表す時は普通の数字の言い方と違うことへの気づきを促す。
- ☆特に発音が難しい音や、聞きなれない音については繰り返し音を聞かせる機会を与える。

【聞き取りにくい序数】 1 = first 2 = second 3 = third 5 = fifth 12 = twelfth
20 = twentieth 25 = twenty-fifth 30 = thirtieth

* 振り返りは省略しています